高松赤十字病院の糖尿病への取り組み

当院では、糖尿病を持つ人の生活・療養を支えるため、多職種がチームとして協力し、その患者さんにとって適したオーダーメイド治療を目標としています。 また地域のかかりつけ医とも協力し、紹介患者さんの病態や合併症精査を行い治療方針を検討する循環型地域連携を目指して取り組んでいます。



<糖尿病看護外来>

糖尿病と共に生きる方々やその家族に対し、 糖尿病とうまく付き合いながら療養生活が 送れるようにコメディカルと連携しながら、 看護師が毎日相談・指導を行っています。 当院に初めて受診に来られた際には、必ず 看護師による面談を行い、タイムリーな支援 が行えるように関わっています。日本糖尿病 指導士(CDEJ)の資格や院内での糖尿病看 護研修を受講した看護師が担当し、1型糖尿 病のインスリンポンプや妊娠糖尿病まで幅広 く対応しています。

<皮膚科外来(糖尿病フットケア)>

糖尿病の予防的フットケアから、足のトラブル対応まで、フットケア指導士の資格を持つ看護師が対応しています。また、当院には「下肢救済チーム」」もあり、足病変を持つ患者さんへの治療も行っています。

<腎臓病総合医療センター

(透析予防)>

当院では、内科外来だけでなく、腎臓病総合 医療センターでの透析予防も行っています。 腎機能悪化予防から、透析導入に向けての療 法選択まで幅広い糖尿病腎症の病期に対応し た指導を行っています。

<糖尿病対策委員会>

院内での糖尿病関連のシステム構築やスタッフ 教育などを目的として、活動をしています。 地域住民への啓発活動として、11月の糖尿病 デーに合わせ、地域公開講座を開催しています。

<糖尿病教育>

当院では、若い世代の方も参加しやすく、短期間でも効果的に糖尿病教育を行うことを目的として、3日間の入院による糖尿病教室を開催しています。(月1回、週末開講)





患者さんが 普段入れない 本館北タワー 12階で開催 しています!



今後も「生活者」である糖尿病を持つ人やその家族への療養生活指導の 充実・質向上に向けて、チームで連携をとりながら努力していきたいと思います (文責:横山)